

登録有形文化財

豊崎長屋 主屋

三日間の展覧会

2016 5.27 fri

→ 5.29 sun

open 12:00 - 18:00 / 入場無料

2016 5.28 sat

参加作家によるギャラリートークと
repair による小さな演奏会

15:00 start / 入場無料

藝
す
み
か
の
術

vol.3

あの日、

ぼくは種をまいた

ここに居るよと

しらせるために

黒田 武志

木鳥 works

渡部 真由美

森 綾花

repair



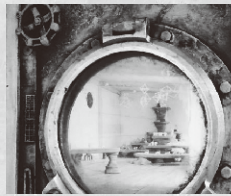
記憶の手がかり
カケラ集めて振り子ふる
忘却の扉は秒針に消えて
そとと、
あの日のあの時よみがえる

黒田 武志

{プロフィール}

「壊れていくこと」「記憶と時間」をテーマに、科学・芸術・哲学を横断するような作品で、インスタレーション、オブジェ、映像など独自の表現活動を続けている。

<http://sandscape.biz/>



時を忘れた恍惚の入り口
子どもの頃空でなぞった
鳥の飛び方・月の軌道
木立に潜む秘密の基地

木鳥 works

{プロフィール}

作品展を中心にライブ会場のデコレーション、ミュージックビデオの制作、店舗内装や看板制作、現在も店舗の内装などで活動中。

<http://www.facebook.com/3kotori>



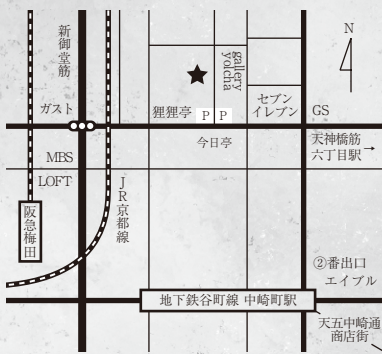
線が下る闇の中
ここが今か過去なのか
眼の先に
残像取り込む 時の白

渡部 真由美

{プロフィール}

1983年大阪生まれ
大阪在住

2007年より、ドローイング、ペインティング、オブジェ等、ジャンルを問わず独自の活動を始める。国内外の展覧会・アートイベントに数多く参加し、個展も積極的に開いている。2012年ビジュアルブック「オノマトヘア」(wassha 名義)発行。



-登録有形文化財-

豊崎長屋 主屋

大阪府大阪市北区豊崎 1-1-3

2016年5月28日(土)
15:00 start / 入場無料

参加作家によるギャラリートークと
repairによる小さな演奏会



作家本人に作品の事から、制作過程のことなど、普段聞けないお話を聴かせていただきます。また、本展覧会を企画した repair による小さな演奏会も行います。入場無料ですのでぜひお気軽にお越し下さい。

お問い合わせはこちら repair.tb@gmail.com

ただの旧字体だと思っていた「藝術」。元は違った意味があったようです。
「藝」の原字は「執」で「木」「土」「土」「丸」の会意文字で両手を添える様を示します。植物に手を添え、土に植える事、「種を撒く」という意味があります。「芸術」という言葉についても、作り手だけを連想してしまいがちな言葉ですが、改めて意味を調べると「表現者と鑑賞者が相互に作用し合い、精神的・感覚的な変動を得ようとする活動」とありました。やはり「共鳴」してこそその「ゲイジユツ」。

また日本家屋の魅力。歴史に根付いた文化。ここでは「床の間」からはじまる、おもてなしがありました。まずは床の間に座り、掛け軸の「書」もしくは「絵画」を鑑賞し、それから主人へあいさつする。例えば、床の間に椿の掛け軸があったならば、お茶菓子は椿餅が出され、花器には椿が活かされていたりと、さりげない空間演出を楽しむという文化。そのさりげなさに憧れ、現代版の「床の間」からはじまる展覧会をしたいと思います。
「床の間」は客人をもてなす「種まきの場所」であり、会話なき「対話の場所」なのです。

家と藝術の在り方を考える

三日間の
展覧会

藝術のすみか

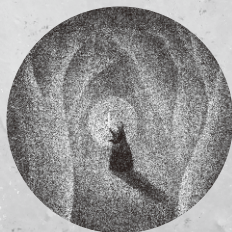
vol.3

2016年

5月27日(金)

5月29日(日)

open 12:00 - 18:00
入場無料



彼らにだけ届ける
耳打ちのシンフォニア

森 綾花

{プロフィール}

Charcoal drawing, Intaglio, Magic lantern
<http://souvenirforet.web.fc2.com/>

空息しそうな黒の濃淡
白は光を受け取った



repair

{プロフィール}

絵と音と言葉のユニット。クラシカルで静かな音楽は開放感と閉塞感の両面を持ち、つめたくあたたかい。絵とトロンボーンが目下明、ピアノと言葉が谷口有佳。「こわれたら、はじまり。」
<http://repair-trom.blogspot.com/>

時を模する一音に
引き寄せられた
景色の文字
すりきれたテープに
浮遊する

